



2021年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

東・福

上場会社名 株式会社大分銀行 上場取引所
 コード番号 8392 URL <https://www.oitabank.co.jp/>
 代表者（役職名）取締役頭取（氏名）後藤 富一郎
 問合せ先責任者（役職名）執行役員総合企画部長 兼収益管理室長（氏名）池田 雄（TEL）097-534-1111
 四半期報告書提出予定日 2020年11月24日 配当支払開始予定日 2020年12月7日
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（%表示は、対前年中間増減率）

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	28,863	7.3	2,502	△28.1	1,405	△41.3
2020年3月期中間期	26,911	△17.9	3,479	△42.1	2,396	△50.0

(注) 包括利益 2021年3月期中間期 7,369百万円(△2.1%) 2020年3月期中間期 7,524百万円(△8.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期中間期	89.28	88.88
2020年3月期中間期	152.29	131.42

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	3,717,022	195,356	5.2
2020年3月期	3,393,016	188,568	5.5

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 195,028百万円 2020年3月期 188,271百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年3月期	—	40.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通 期	55,900	△8.1	6,400	△31.4	4,000	△21.3
						254.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期中間期	16,243,634株	2020年3月期	16,243,634株
② 期末自己株式数	2021年3月期中間期	497,800株	2020年3月期	503,082株
③ 期中平均株式数（中間期）	2021年3月期中間期	15,743,537株	2020年3月期中間期	15,736,112株

(個別業績の概要)

1. 2021年3月期第2四半期（中間期）の個別業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期中間期	23,683	8.9	1,900	△34.9	1,015	△50.1
2020年3月期中間期	21,748	△21.1	2,921	△45.1	2,035	△53.2
	1株当たり 中間純利益					
	円 銭					
2021年3月期中間期	64.52					
2020年3月期中間期	129.36					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期中間期	3,703,133	183,174	4.9
2020年3月期	3,378,917	177,046	5.2

(参考) 自己資本 2021年3月期中間期 182,908百万円 2020年3月期 176,808百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	45,600	△9.6	5,400	△33.9	3,300	△23.8	209.61

※中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社（企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社）に該当するため、第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結株主資本等変動計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
3. 中間財務諸表	9
(1) 中間貸借対照表	9
(2) 中間損益計算書	10
(3) 中間株主資本等変動計算書	11

※2021年3月期第2四半期決算補足説明資料

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2020年度上半期の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、4－6月期の実質GDP成長率(2次速報値)が年率△28.1%の大幅なマイナス成長となるなど、厳しい状況となりました。7－9月期は4－6月期の落ち込みを取り戻すまでには至らないものの、持ち直しの動きがみられました。設備投資は在宅勤務の拡大に伴いIT関連が堅調にあるものの、先行き不透明感の高まりなどから全体としては弱めの動きとなりました。生産活動は、前半は内需・外需の大幅な減少に伴い弱い動きとなった一方、後半は自動車関連産業を中心に持ち直しました。個人消費は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出により大幅に悪化し、同宣言の解除後には急回復もみられましたが、後半からは回復のペースが鈍化し、前年と比べると低い水準で推移しました。住宅投資は所得環境の悪化などから弱い動きとなりました。公共投資は前年よりやや増加しました。また、有効求人倍率は低下が続き、高めの水準ではあるものの弱い動きとなりました。

県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により弱い動きが続きましたが、後半は一部で持ち直しの動きがみられました。設備投資は、とりわけ非製造業において減少しました。生産活動は、前半は弱い動きとなりましたが、後半は緩やかに持ち直しました。個人消費は緊急事態宣言下に大きく悪化したものの、同宣言の解除に伴い一時的に急回復しました。家電量販店やドラッグストアなどの専門量販店や、食品スーパーの販売額が底堅く推移したほか、後半は乗用車販売の持ち直しもみられましたが、外出自粛や催事の中止、季節需要の喪失など新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことから、コロナ前と比べると低い水準で推移しました。住宅投資は持家や分譲マンションが減少し、弱めの動きとなりました。観光は新型コロナウイルス感染症や豪雨災害の影響から国内客・海外客ともに急速かつ大幅な落ち込みがみられ、厳しい状況となりました。有効求人倍率は低下が続き、8月は1.07倍と高めの水準を維持するものの、弱い動きとなりました。一方、公共投資はほぼ前年度並みの水準を保ち、底堅く推移しました。

このような経済環境の中で、当行グループは積極的な営業活動を展開し、業績向上に努めました結果、当中間連結会計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

連結ベースの経常収益は、株式等売却益の増加によるその他経常収益の増加により、前年同期比19億51百万円増加し、288億63百万円となりました。一方、経常費用は、国債等債券売却損の増加によるその他業務費用の増加及び貸倒引当金繰入額の増加によるその他経常費用の増加により、前年同期比29億28百万円増加し、263億61百万円となりました。

この結果、経常利益は、前年同期比9億77百万円減少し、25億2百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比9億90百万円減少し、14億5百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債等の状況)

・預金等

預金及び譲渡性預金の合計残高は、金融機関預金が減少したものの、個人預金、法人預金及び公金預金が増加したことから、前連結会計年度末対比2,137億円増加し、3兆2,260億円となりました。

・貸出金

貸出金残高は、公共向け貸出が減少したものの、事業性貸出及び個人ローンが増加したことから、前連結会計年度末対比486億円増加し、1兆8,812億円となりました。

・有価証券

有価証券残高は、その他の証券、地方債、国債及び社債が増加したことから、前連結会計年度末対比1,527億円増加し、1兆2,481億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月11日に公表しました業績予想につきましては、銀行単体において、株式等売却益及び与信費用が当初予想を上回る見込みとなったこと等から、以下のとおり修正しております。

①2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想 (A)	53,700	6,800	4,400
今回修正予想 (B)	55,900	6,400	4,000
増減額 (B-A)	2,200	△400	△400
増減率 (%)	4.1	△5.9	△9.1
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	60,805	9,330	5,081

②2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	43,300	5,900	3,800
今回修正予想 (B)	45,600	5,400	3,300
増減額 (B-A)	2,300	△500	△500
増減率 (%)	5.3	△8.5	△13.2
(ご参考)前期実績(2020年3月期)	50,427	8,171	4,333

業績予想の前提として、日経平均株価を18,000円～25,000円、与信費用を連結28億円、単体26億円と予想しております。

なお、業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、今後、新型コロナウイルス感染症の状況等により、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当中間連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金預け金	337,044	459,078
買入金銭債権	3,236	3,030
金銭の信託	17,939	16,994
有価証券	1,095,311	1,248,107
貸出金	1,832,686	1,881,297
外国為替	8,361	13,105
リース債権及びリース投資資産	16,278	15,903
その他資産	52,234	52,818
有形固定資産	30,664	31,078
無形固定資産	1,291	1,197
退職給付に係る資産	7,368	7,281
繰延税金資産	4,363	2,127
支払承諾見返	12,237	12,788
貸倒引当金	△25,998	△27,785
資産の部合計	3,393,016	3,717,022
負債の部		
預金	2,911,088	3,047,086
譲渡性預金	101,146	178,923
売現先勘定	18,773	18,295
債券貸借取引受入担保金	8,517	3,635
借入金	99,716	203,129
外国為替	187	33
その他負債	38,417	43,873
賞与引当金	1,109	1,139
退職給付に係る負債	7,023	6,768
役員退職慰労引当金	23	22
睡眠預金払戻損失引当金	1,757	1,536
繰延税金負債	—	9
再評価に係る繰延税金負債	4,448	4,425
支払承諾	12,237	12,788
負債の部合計	3,204,447	3,521,665
純資産の部		
資本金	19,598	19,598
資本剰余金	13,778	13,771
利益剰余金	140,394	141,223
自己株式	△2,279	△2,253
株主資本合計	171,491	172,340
その他有価証券評価差額金	10,899	16,286
繰延ヘッジ損益	△593	△248
土地再評価差額金	8,958	8,905
退職給付に係る調整累計額	△2,483	△2,254
その他の包括利益累計額合計	16,780	22,688
新株予約権	237	266
非支配株主持分	59	62
純資産の部合計	188,568	195,356
負債及び純資産の部合計	3,393,016	3,717,022

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	26,911	28,863
資金運用収益	17,514	16,950
(うち貸出金利息)	11,349	10,692
(うち有価証券利息配当金)	6,072	6,205
役務取引等収益	4,334	4,442
その他業務収益	4,449	4,637
その他経常収益	612	2,833
経常費用	23,432	26,361
資金調達費用	484	293
(うち預金利息)	186	144
役務取引等費用	1,128	1,146
その他業務費用	5,946	7,305
営業経費	14,615	14,787
その他経常費用	1,257	2,828
経常利益	3,479	2,502
特別利益	—	4
固定資産処分益	—	4
特別損失	50	66
固定資産処分損	29	56
減損損失	20	10
税金等調整前中間純利益	3,429	2,439
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,345
法人税等調整額	△111	△311
法人税等合計	1,033	1,033
中間純利益	2,396	1,405
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,396	1,405

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
中間純利益	2,396	1,405
その他の包括利益	5,128	5,963
その他有価証券評価差額金	4,870	5,389
繰延ヘッジ損益	188	344
退職給付に係る調整額	69	229
中間包括利益	7,524	7,369
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	7,524	7,366
非支配株主に係る中間包括利益	△0	2

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

前中間連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,598	13,788	136,604	△2,327	167,663
当中間期変動額					
剰余金の配当			△629		△629
親会社株主に帰属する 中間純利益			2,396		2,396
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		△9		50	40
土地再評価差額金の取崩			10		10
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	△9	1,778	48	1,816
当中間期末残高	19,598	13,778	138,382	△2,279	169,480

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	25,954	△530	8,926	△369	33,981	234	57	201,937
当中間期変動額								
剰余金の配当								△629
親会社株主に帰属する 中間純利益								2,396
自己株式の取得								△2
自己株式の処分								40
土地再評価差額金の取崩								10
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	4,870	188	△10	69	5,117	2	△0	5,119
当中間期変動額合計	4,870	188	△10	69	5,117	2	△0	6,936
当中間期末残高	30,825	△341	8,915	△299	39,099	237	57	208,874

当中間連結会計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,598	13,778	140,394	△2,279	171,491
当中間期変動額					
剰余金の配当			△629		△629
親会社株主に帰属する 中間純利益			1,405		1,405
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		△6		28	21
土地再評価差額金の取崩			53		53
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	△6	829	26	848
当中間期末残高	19,598	13,771	141,223	△2,253	172,340

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	10,899	△593	8,958	△2,483	16,780	237	59	188,568
当中間期変動額								
剰余金の配当								△629
親会社株主に帰属する 中間純利益								1,405
自己株式の取得								△2
自己株式の処分								21
土地再評価差額金の取崩								53
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	5,387	344	△53	229	5,907	28	2	5,938
当中間期変動額合計	5,387	344	△53	229	5,907	28	2	6,787
当中間期末残高	16,286	△248	8,905	△2,254	22,688	266	62	195,356

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済への影響は、当年度中は続くものと想定し、特に当行グループの貸出金等の信用リスクに一定の影響があると認識しております。このような状況下において、現時点で見積りに影響を及ぼす入手可能な情報を考慮して債務者区分を決定しております。当該仮定には不確実性があり、新型コロナウイルス感染症の状況や経済への影響が変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。

なお、当該仮定は前連結会計年度から変更ありません。

3. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当中間会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
現金預け金	336,047	457,906
買入金銭債権	3,236	3,030
金銭の信託	17,939	16,994
有価証券	1,099,559	1,252,375
貸出金	1,839,189	1,887,500
外国為替	8,361	13,105
その他資産	43,184	44,129
その他の資産	43,184	44,129
有形固定資産	29,021	29,459
無形固定資産	1,143	1,064
前払年金費用	10,246	9,911
繰延税金資産	2,288	160
支払承諾見返	12,231	12,784
貸倒引当金	△23,532	△25,288
資産の部合計	3,378,917	3,703,133
負債の部		
預金	2,919,062	3,055,754
譲渡性預金	105,846	183,223
売現先勘定	18,773	18,295
債券貸借取引受入担保金	8,517	3,635
借入金	93,556	197,517
外国為替	187	33
その他負債	30,393	35,806
未払法人税等	2,270	730
リース債務	120	117
資産除去債務	286	289
その他の負債	27,716	34,669
賞与引当金	1,009	1,035
退職給付引当金	6,086	5,910
睡眠預金払戻損失引当金	1,757	1,536
再評価に係る繰延税金負債	4,448	4,425
支払承諾	12,231	12,784
負債の部合計	3,201,871	3,519,958
純資産の部		
資本金	19,598	19,598
資本剰余金	10,592	10,585
資本準備金	10,582	10,582
その他資本剰余金	9	3
利益剰余金	129,654	130,093
利益準備金	10,431	10,431
その他利益剰余金	119,223	119,662
固定資産圧縮積立金	112	112
別途積立金	113,830	116,830
繰越利益剰余金	5,281	2,720
自己株式	△2,279	△2,253
株主資本合計	157,565	158,024
その他有価証券評価差額金	10,878	16,227
繰延ヘッジ損益	△593	△248
土地再評価差額金	8,958	8,905
評価・換算差額等合計	19,243	24,883
新株予約権	237	266
純資産の部合計	177,046	183,174
負債及び純資産の部合計	3,378,917	3,703,133

(2) 中間損益計算書

	(単位：百万円)	
	前中間会計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
経常収益	21,748	23,683
資金運用収益	17,042	16,474
(うち貸出金利息)	10,874	10,214
(うち有価証券利息配当金)	6,074	6,208
役務取引等収益	3,932	4,062
その他業務収益	151	308
その他経常収益	622	2,837
経常費用	18,827	21,782
資金調達費用	475	284
(うち預金利息)	186	144
役務取引等費用	1,128	1,146
その他業務費用	2,196	3,564
営業経費	13,927	14,073
その他経常費用	1,099	2,713
経常利益	2,921	1,900
特別利益	—	4
特別損失	49	66
税引前中間純利益	2,871	1,837
法人税、住民税及び事業税	938	1,129
法人税等調整額	△102	△307
法人税等合計	835	822
中間純利益	2,035	1,015

(3) 中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当期首残高	19,598	10,582	19	10,602
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△9	△9
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	△9	△9
当中間期末残高	19,598	10,582	9	10,592

	株主資本						
	利益剰余金					自己株式	株主資本 合計
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計		
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	10,431	112	109,830	6,238	126,612	△2,327	154,484
当中間期変動額							
剰余金の配当				△629	△629		△629
中間純利益				2,035	2,035		2,035
自己株式の取得						△2	△2
自己株式の処分						50	40
別途積立金の積立			4,000	△4,000	—		—
土地再評価差額金の取崩				10	10		10
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	4,000	△2,582	1,417	48	1,455
当中間期末残高	10,431	112	113,830	3,656	128,029	△2,279	155,940

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	25,920	△530	8,926	34,316	234	189,036
当中間期変動額						
剰余金の配当						△629
中間純利益						2,035
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						40
別途積立金の積立						—
土地再評価差額金の取崩						10
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	4,873	188	△10	5,051	2	5,054
当中間期変動額合計	4,873	188	△10	5,051	2	6,509
当中間期末残高	30,794	△341	8,915	39,368	237	195,546

当中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計
当期首残高	19,598	10,582	9	10,592
当中間期変動額				
剰余金の配当				
中間純利益				
自己株式の取得				
自己株式の処分			△6	△6
別途積立金の積立				
土地再評価差額金の取崩				
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)				
当中間期変動額合計	—	—	△6	△6
当中間期末残高	19,598	10,582	3	10,585

	株主資本						
	利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	
		固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金			利益剰余金 合計
当期首残高	10,431	112	113,830	5,281	129,654	△2,279	157,565
当中間期変動額							
剰余金の配当				△629	△629		△629
中間純利益				1,015	1,015		1,015
自己株式の取得						△2	△2
自己株式の処分						28	21
別途積立金の積立			3,000	△3,000	—		—
土地再評価差額金の取崩				53	53		53
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)							
当中間期変動額合計	—	—	3,000	△2,560	439	26	458
当中間期末残高	10,431	112	116,830	2,720	130,093	△2,253	158,024

	評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	10,878	△593	8,958	19,243	237	177,046
当中間期変動額						
剰余金の配当						△629
中間純利益						1,015
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						21
別途積立金の積立						—
土地再評価差額金の取崩						53
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	5,348	344	△53	5,640	28	5,669
当中間期変動額合計	5,348	344	△53	5,640	28	6,128
当中間期末残高	16,227	△248	8,905	24,883	266	183,174